

図書館のコンピュータと郷土資料検索手法

— 尼崎市立図書館 —

藤井 千年

郷土に関するレファレンスは、公共図書館においては最も基本的業務の一つであろう。郷土に関する情報がどの資料に掲載されているか、このことを知るツールが不可欠であることは、reference librarian の等しく痛感しているところである。

これまでのツールは「参考事務（レファレンス・ツール）記録票」等カード方式によって行ってきた（図1）。このカードを、件名の五十

レファレンス・ツール「記録票」

NDC番号	関連番号(→ラモ見ヨ)	件名
20	→ 27	尼崎-金石・金石文
資料名・著作名・Vol. No. P.		順番番号
「石碑を中心とする尼崎と語る」早稲垣水		→ 90
『上方』57号、(32p)、5.10.11日。		→ 101
		キ

NDC番号	関連番号(→ラモ見ヨ)	件名
417	→ 477	尼崎-公害
資料名・著作名・Vol. No. P.		順番番号
「尼崎における公害問題の展開」1-2 小野寺		A
『兵庫文学』45-46号、1116-17年。		20
		1-2

(図1)

© 尼崎市立図書館 1972

「件名」または「分類番号」順に配列しておく。

音順に配列して「郷土資料インフォメーション・ファイル」等を作成してこの業務に対応してきた。この機能をコンピュータによって行おうとするが、今回の試みである。

1. 「尼崎市郷土資料文献索引」の利用

1) データベースの構想

前述の「レファレンス・ツール記録票」における（尼崎-金石・金石文）又は（尼崎-公害）に関する記述（情報）は、どの文献・図書に掲載されているかを即座に知ることができるツールを、コンピュータ・データベースとして構築しようとするものである。コンピュータによる

作業のほうが、カードシステムより数倍早くて簡単である。とりあえず、このデータベースを使って、尼崎市の郷土資料を検索してみよう。この機能は『尼崎データベース』の一つとして位置付けされている（図2：次頁）。

『尼崎データベース生涯学習メニュー』は、いわゆる「生涯学習情報」と言われるイベント情報、講師・指導者

情報、会場・スペース情報が検索できるメニューと同居している形になっている。これは、各公民館図書室に配置され、図書館とオンラインで結ばれている端末機で検索されることを意図したのである。したがって各公民館において行

(図 2)

尼崎データベースの初期画面
「生涯学習情報」のデータベースと共用して、
各公民館図書室等とオンラインされている。

※ 尼崎データ ベース 生涯学習メニュー ※ 92年06月16日

F1. イベント検索	F6. イベント情報 修正
F2. 講師検索(公開)	F7. イベント情報 登録
F3. 講師検索(非公開)	F8. 講師情報 修正
F4. 会場検索	F9. 講師情報 登録
F5. 尼崎データベース検索	F10. 会場情報 修正
F12. 尼崎データベース入力	F11. 会場情報 登録

処理番号 (F14:終了)

う公民館活動(講座や講演会等)にとって必要な生涯学習情報も、またその講座等に必要の関係図書の検索やリストアップなども、自由に即座に行うことが出来るので、真に足が地についた生涯学習活動が展開できるであろう事を期待したものである。

このメニュー画面から「F5 尼崎データベース検索」を指定すると、『尼崎データベース検索設定』(図3)の画面が出る。この画面では、

(図 3)

検索設定画面

〒671-3700 (尼崎城) OR 〒671-3700 (琴浦城) で検索設定をする。
(「尼崎城」は、別名「琴浦城」と呼ばれている。)

※ 尼崎データベース 検索設定 ※ 92年06月16日

館 館内 形態

区分	検索キー	条件	区分	検索キー	条件	区分	検索キー	条件
1	F18-113-370	AND	2	F12-113-370	AND			

入力: 検索: F0: 館入力: F12: 館入力: F14: 終了)

条件=

1: AND	W: イベント情報
2: OR	X: 講師情報(公開)
3: NOT	Y: 講師情報(非公開)
4: <	Z: 会場スペース情報
5: >	K: 郷土資料情報

6個の「検索資料キーワード」(件名の名辞)を and, or, not の条件設定による論理検索が可能であり、更に「<=1950年以降」や「>=1980年以前」のように、その資料の発行年による絞り込みも可能である。なお「形態」の位置に、W, X, Y, Z を入力すれば、それぞれ(イベント情報, 講師の情報(公開可), 同(非公開), 会場の情報等)が検索できる。

2) 検索の実際

いま、「尼崎城」or「琴浦城」のことについて書かれている資料を検索してみる。(尼崎城は、またの名を琴浦城と称していた。)その検索結果の第一画面が「郷土資料検索(一覧表示)」(図4:次頁)である。(「尼崎市城OR 琴浦城」で検索したことを示している。なおこの画面から、尼崎城に関する情報・記述は「上方(復刻版)51」「撰北 38」

「琴之浦 2」「上方(復刻版)59」「科学的にも見た兵庫」「兵庫県名鑑 昭和2年版」「摂津国地名の根源」「尼崎市史5 史料編」等の資料の、それぞれ<尼崎の歴史><尼崎の歴史地理><尼崎の歴史><尼崎の歴史><尼崎の地誌><尼崎の地誌><尼崎の地名><尼崎の歴史>といった章又は小見出しのもとに掲載されていることを知ることができる。)ちなみに、例えばその NO. 28 の資料「上方(復刻版)59号」を呼び出し詳細画面を示すと、図6「資料検索(詳細表示)」の画面の通りである。(これは「尼崎の歴史」

との小見出しのもとに、この記事が掲載されていること、又この資料は(参考書の郷土資料の棚)にあることを示し、『上方(復刻版)59号』は尼崎特集号となっている、所在記号は「291.6-387」であることを示している。)この雑誌に収録されている論文は「尼崎最古の大覚寺 岡本静心著/尼崎藩武庫川の花火 多田莎平著/長州漁人よ

り尼崎市市に至る発展小島修著/尼崎の神社 江田清治著/尼崎城の追憶 正田芋人著/城柱の人柱 村山翠溪著等」であることが分かる。

2. 尼崎データベース(郷土資料)への入力 —データベースの構築—

「尼崎郷土資料文献索引」への書誌情報の入力は、カード方式による作業より簡単で速いの

(図4) 一覧画面(第一画面)
下段が図書名、上段はその情報が掲載されている「章」又は「小見出し」。

32 ※※ 郷土資料検索(一覧表示) ※※ 92年06月16日
書名: 72ka*94h*30 OR 書名: 3075h*30

NO	郷土資料及び参考資料文献	11NO	館
25	尼崎の歴史 上方(複製版) 51 中央図書館 *参考	01418121605	中央所蔵
26	尼崎の歴史、地理 撰北 3巻 中央図書館 *参考	01418101652	中央所蔵
27	尼崎の歴史 琴之巻 2(通巻) 中央図書館 *参考	01418111126	中央所蔵
28	尼崎の歴史 上方(複製版) 59 中央図書館 *参考	01418121619	中央所蔵
29	尼崎の地誌 科学的に見る兵庫 中央図書館 *参考	01418141109	中央所蔵
30	尼崎の地誌 兵庫風土探 昭和2 中央図書館 *参考	01418021028	中央所蔵
31	尼崎の地名 橋建園 地名の起源 中央図書館 *参考	01418251609	中央所蔵
32	尼崎の歴史 尼崎市史 5史料 中央図書館 *参考	01418051131	中央所蔵

(明細NOとF7:修正,F9:2次入力:詳細画面)
(F0:前画面,F11:次頁,F12:前頁) 確認

(図5) <郷土資料 登録・修正画面>
9. 「回答要旨」の位置に、カナで検索キーを入力する。
例:コトワカ(琴船城) 9419H(魚市場) 3887(運川)
748410(尼崎港) 17477(黄布杵神社) 4707(本興寺)
81979(開山堂) 9419(板井家) 9487(大覚寺)
他が入力されている。

郷土資料 登録・修正 ※※ 92年06月16日
処理区分 11 (1:修正,2:登録) 情報 26行
コード 01418121619 (F13:戻り,F14:終了)

1. 表示文章 72ka*94h*30
2. 尼崎の歴史
3. 資料名 上方(複製版) 59号 尼崎号
4. 図書館別 291.6387
5. 図書館分庫 291.6387
6. 資料場所 *
7. 所属図書館番号
8. 回答要旨 コトワカ 9419H 3887 72ka*94h 4707 9487 81979 9419H 9487
9. 9419H 9487 81979 9419H 9487 81979 9419H 9487
- 10.

であるが、まだまださまざまな課題を抱えている。
入力についてはどこの図書館においても、またどのような分野においても問題があることは通例であるが、「郷土資料件名標目表」が完備していない現状においては、とりあえずその資料に現れている件名的な名辞を検索キーに使用せざるを得ない。
これは、subject librarianの層が薄いと、日本の図書館界の現在の限界・職員問題を図らずも露呈し

たものであろう。(しかし、このシステムのようにコンピュータによって、数多くの(件名的名辞)を蓄積してゆき、その中から重要な名辞を抽出・統制して概念の階層関係を整備してゆけば、帰納的に当該地域の「郷土資料件名標目表」が作成できるものと思っている。この事は又別の機会に述べたい。)

書誌情報の入力は「郷土資料 登録・修正」画面によって行う(図5)。(図5)の画面で、「9. 回答要旨」の欄(内容細目の位置に相当する)は無限にスクロールするので、あらゆる項目を数多く入力することができる。なお、この欄には、quick referenceに答えられる簡単な回答を入力しておき、始めてレファレンスカウンターに着いた初心者にも、一応の回答が出来るようにするためにも使用しようとしたものであり、郷土に関する簡単な参考質問(夏休み小学生などをに必ず尋ねられるような質問等)について簡単な回答の情報を入力しようとするものである。

昭和10年刊行の『上方59号(尼崎号)』の目次

※※ 資料検索(詳細表示) ※※ 92年06月16日
書名: 72ka*94h*30 OR 書名: 3075h*30
コード 01418121619

尼崎の歴史 *参考、郷土 資料- 上方(複製版) 59号 尼崎号 291.6387 中央図書館参考室 尼崎最古の大覚寺 岡本静心/尼崎藩武庫川の火花 多田彦平/長洲漁人より尼崎魚市に至る発展 小島務/尼崎の神社 江田清治/尼崎城の追憶 正田手人/城址の人柱 村山翠溪/亀文松平遠江守の逸聞 多田彦平/難波 上村重水/大物 安田利治/石碑を中心
--

所蔵館: 尼崎市立中央図書館
所蔵図書
登録館: 尼崎市立中央図書館
登録日: 91/12/12

(図6) (図4)のNO 28 『上方(複製版)59号』の詳細画面。
内容細目の位置に「論文名 著者/論文名 著者」の順序に表示されている。

(図7)



<p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p> <p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p> <p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p>	<p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p> <p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p> <p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p>	<p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p> <p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p> <p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p>	<p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p> <p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p> <p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p>
--	--	--	--

<p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p> <p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p> <p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p>	<p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p> <p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p> <p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p>	<p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p> <p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p> <p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p>	<p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p> <p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p> <p>大覚寺の歴史</p> <p>岡本静心の研究</p>
--	--	--	--

(図7)で見ると、その目次の中から郷土に関連あると思われ、しかも郷土の情報として検索されるであろうと思われるキーワード(件名的名辞)を多数発見することが出来るが、この項目をすべて入力してゆこうとするものである。

この事例では、雑誌『上方59号(尼崎号)』の目次から口絵図として「尼崎琴浦城全景、漁市場、逢川の松林(今は面影も無い)、尼崎港、貴布神社、本興寺、開山堂(文化財)、桜井家旗印(尼崎藩主・尼崎市章のデザインに使用)」等の図版情報があり、大覚寺、岡本静心(歴史研究家・故大覚寺住職)、尼崎藩、武庫川、花火(尼崎藩は砲術に優れ、花火も盛んであった)等の論文・記事へ導こうと、それらの項目(件名的名辞)を殆ど網羅的に入力しようとしていることが分かる。

一方、郷土関係雑誌については、内容細目を出来る限り入力しており、このコンピュータは書誌階層に対応するシステムを持っているので、

構成レベル(分析レベル)の書誌情報をも分析してディスプレイに出力する。従って例えば、岡本静心、多田莎平、小島修、江田清治等の著者から検索すれば、それぞれの論文を「検索一覧表示(第1画面)」で見ることが出来ることになっている。

3. 「尼崎市関係新聞記事索引」の作成

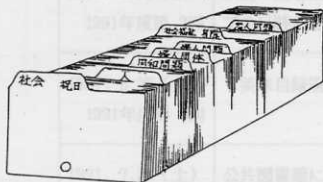
神戸市立図書館が作成した、終戦の月以降の国内ニュース記事を検索できる『戦後国内重要ニュース索引』は、当時のレファレンスサービス担当者に計り知れない福音をもたらしたものである。

尼崎市においても昭和48年から郷土関係の新聞記事索引をカードにとり、それを件名の五十音順に配列し、「尼崎市関係新聞記事索引」を作成している(図8:次頁)。その中から参考になる記事を選択し、冊子として刊行してきた。

(図8)

件名	社会福祉	
見出し	老人問題	
内容	阪神7市共同建設「ななくさ特別養護老人ホーム」4月オープン	
発行所	① ② ③ ④ : 近 夕 全 平	550. 2. J
新聞記事索引カード		尼崎市立図書館

新聞記事索引カードは、年間 7~8,000 枚作られる。その中から
参考事項に必要と思われるものを 3~4,000 枚を冊子に作る。



新聞記事索引カードは、「件名」の見出しの下に、ほぼ五十音順
に配列されている。

この機能もコンピュータによって行おうとするものであるが、システムとしては「郷土資料文献検索」と同じものである。

一方、新聞は全面的記事情報を光ファイリングとして入力し、新聞名・年月日を検索キーとしてカウンターの端末機で出力できることになっていて、コピーも可能である。もちろん、各公民館図書室の端末にも送ることができる。

この新聞記事索引はまだ試行の段階であり、現在は入力されている情報の量は少ない。

新聞記事索引をコンピュータ化しても冊子体の索引が必要かどうか検討中であるが、必要となればコンピュータ・アウトプット出来るように考える必要がある。(少なくとも、その原稿はコンピュータで打ち出し出来るようにするべきであると話し合っている。)

(FUJII, Chitoshi 尼崎中央図書館)

(受理 1992.7.2)

1991. 7. 23 (土)	公民館図書におけるコンピュータ化 (1) : 寺田 誠氏 (神戸大学)
1991年 第 3 号	寺田 誠 氏 (神戸大学)
1991. 10. 26 (土)	DDBの普及問題 (COMPASS : オンライン環境下の主題索引)
1991年 第 4 号	北 野 一 氏 (京都大学)
1991. 11. 16 (土)	経理情報システムと会計グループ その2 : 藤田 隆氏 (1990-1991)
1991年 第 7 号	藤田 隆 氏 (神戸大学)
1991. 12. 14 (土)	ダイエンス・パークの情報システム
1991年 第 8 号	藤 田 隆 氏 (京都大学)
1992. 1. 25 (土)	公民館図書におけるOPACのネットワーク環境下における普及の課題
1991年 第 9 号	寺 田 誠 氏 (神戸大学)
1992. 3. 7 (土)	中小公民館図書におけるコンピュータによる検索手段
1991年 第 10 号	藤 田 隆 氏 (神戸大学)